

科目区分	専門分野	科目名	老年看護援助論 I (運動器)	対象学生	第 2 学年
		単位数 (時間数)	1 単位 (30 時間)	学 期	第 1 学期
担当講師	院内講師 田所 正春 (臨床経験 8 年、教育経験 12 年)				
科目目標	運動器疾患による健康障害をもつ対象への看護を展開するための知識・技術を習得する。				
授業計画	<p>大腿骨頸部骨折患者の看護の思考(教員)</p> <p>第 1 回 看護過程の展開に必要な情報収集と分析の視点 (講義・演習) 1. 身体的側面、心理的側面、社会的側面 2. 加齢による変化と 3 側面への影響</p> <p>第 2～3 回 情報収集と情報の整理 (演習)</p> <p>第 4 回 看護問題の明確化(演習)</p> <p>第 5 回 看護計画(演習)</p> <p>運動器疾患患者の看護</p> <p>第 6 回 看護援助のための主な知識と技術 (講義) 1. 身体機能の評価 2. ADL の評価 3. 基本肢位・良肢位と廃用症候群の予防 4. セルフケアを支える道具の活用 5. 運動器リハビリテーション 6. 運動器疾患と保健・医療・福祉制度</p> <p>第 7 回 症状のある患者の看護 (講義) 1. 疼痛 2. 区画症候群とフォルクマン拘縮 3. クラッシュシンδροーム 4. 橈骨・正中・尺骨神経の障害、腓骨神経の障害</p> <p>第 8 回 外傷性 (外因性) の運動器疾患患者の看護 (骨折・脱臼) 1. アセスメント (検査所見含む) 2. 看護の実際 保存療法を受ける患者の看護</p>		<p>第 9 回 大腿骨頸部骨折・大腿骨転子部骨折の患者の看護 1. アセスメント (検査所見含む) 2. 看護の実際 人工骨頭置換術を受ける患者の看護 (手術前の看護、手術後の看護) DVT 予防の看護 (下肢の計測、弾性ストッキング装着)</p> <p>第 10 回 腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症患者の看護 1. アセスメント (検査所見含む) 2. 看護の実際 保存療法を受ける患者の看護、生活指導、手術療法を受ける患者の看護</p> <p>第 11 回 変形性膝関節症の患者の看護 1. アセスメント (検査所見含む) 2. 看護の実際 手術療法、理学療法</p> <p>第 12 回 関節リウマチ患者の看護 (講義) 1. アセスメント (検査所見含む) 2. 看護の実際</p> <p>第 13 回 脊髄損傷患者、四肢切断術後患者の看護 (講義) 1. アセスメント (検査所見含む) 2. 看護の実際</p> <p>第 14 回 主な治療を受ける患者の看護 (演習) 保存療法:ギプス固定、牽引療法を受ける患者の看護、理学療法を受ける患者の看護、歩行補助具の選択</p> <p>第 15 回 終了試験</p>		
評価方法	筆記試験(70 点)、課題レポート(30 点)				
テキスト	系統別看護学講座 老年看護学、成人看護学 10 運動器 医学書院				
講師からのメッセージ	既習内容である「老年看護学概論」の加齢に伴う変化を想起し学習する。形態と機能、疾病・治療論、病態診断学等の学習内容を想起する。この科目は、成人看護学実習の運動障害のある患者の看護と老年看護学実習へつながる老年期の対象を理解するための基礎となる学習をする。国家試験出題基準を確認し学習すること。				